

やさい週間情報(第11号)

平成29年6月23日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	7,000~6,500	7,000~6,500	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 むぎとろの日に合わせて都内量販店を中心に消費宣伝会を実施しており消費拡大に繋がった。しかしその後梅雨入りとなったことから、荷動きが鈍くなり始めている。
		A3L	7,000~6,500	7,000~6,500			
		A2L	6,000~	6,000~			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,500~	5,500~			
		B L	4,800~4,500	4,800~4,500			
		B M	4,200~	4,200~			
		C2L	4,700~4,500	4,700~4,500			
C L	4,200~4,000	4,200~4,000		カット 100g 98~68円	売場はカット販売中心で、C品の荷動きは良いものの、単価高からAB品太物は単価高から荷動きは鈍化してきている。		
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,800~6,500	6,800~6,500		1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 流通量が少ない状況の中で、需要期を迎え、特売等の販売企画も組まれていることから引合いはあるものの、安価な転送品も出回りから価格は弱保合での販売となっている。
		A3L	6,800~6,500	6,800~6,500			
		A2L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,600~4,200	4,600~4,200			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,700~5,500	5,700~5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,400~4,000	4,400~4,000			
		C2L	4,700~4,600	4,700~4,600			
C L	4,300~4,200	4,300~4,200		カット 98~78円/100g	来週についても、総体量の少なさから販売企画の中心であるC品・太物を中心に引合いはあるものの、価格については保合での販売が続く見込みとなっている。		

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	6,600~6,500	6,600~6,500		カット 78~98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 消費地は空梅雨であるものの朝晩の気温が低い日が続いており、それほど需要は伸びておらず、荷動きは売価の高い太物を中心に鈍くなってきている。また、本県産の転送の案内は、引続き多い状況にある。 来週については、入荷量は減少となるが、需要は回復しきらず、価格は保合推移と見込み。
		A3L	6,800~6,500	6,800~6,500			
		A2L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		A L	5,000~	5,000~			
		B4L	5,800~5,500	5,800~5,500			
		B3L	5,800~5,500	5,800~5,500			
		B2L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		C2L	4,800~4,500	4,800~4,500			
		C L	4,200~4,000	4,200~4,000			
九州	本県産	A4L	7,000~6,800	7,000~6,800		カット 100g 98~78円	青果物全般に荷動きが鈍い中、ながいもについても価格高により、A品の太物の荷動きが鈍くなっている。 量販店では売価高が続いている影響により、売場を拡張しづらく、また、グラム数を抑えた販売が続いている。 九州管内は今週に入って、特に南九州が大雨になる等の影響により消費の停滞が見られており、7月中旬頃まで消費宣伝を実施し消費の喚起を図る。
		A3L	7,000~6,800	7,000~6,800			
		A2L	6,500~6,300	6,500~6,300			
		A L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B4L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B3L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B2L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		C2L	4,500~4,300	4,500~4,300			
		東北	本県産 北海道産	A4L			
A3L	6,500~			6,500~			
A2L	6,200~			6,200~			
A L	5,200~5,000			5,200~5,000			
B4L	6,000~5,800			6,000~5,800			
B3L	6,000~5,800			6,000~5,800			
B2L	5,500~5,300			5,000~5,300			
B L	4,700~4,500			4,800~4,500			
C2L	4,500~4,300			4,500~4,200			
C L	4,000~			4,000~			

品名 にんにく

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 (生) 香川県産 (乾燥)	A 2 L A L A M 秀 3 L 秀 2 L 秀 L	1,200 1,300~1,200 1,000 1,600~ 1,600~ 1,400~	1,200 1,300~1,200 1,000 1,600~1,500 1,600~1,500 1,400~1,200	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産生品と西南暖地産の乾燥品の販売となっている。 香川県産の乾燥品の出荷が始まり、本県産の生品の出荷が続いているが、生品への引合いが強く、生品の荷動きは比較的良好な状況が続いている。 香川県産の乾燥品は6月下旬以降増量見込みだったが、品質不良から出荷量は多くない。来週についても本県産の生品については保合での販売で推移する見込み。
名古屋	本県産	A 2 L A L (生) A 2 L A L	2,000 2,200~2,000 1,200 1,000	2,000 2,200~2,000 1,200 1,000		L 1 P 258~198 円	本県産中心の販売となっている。 貯蔵乾燥品は、終盤を迎え、計画出荷と品質が良好であることから、安定した販売が続いている。 生品については、売場が乾燥品主体の売場展開であることから、売場少なく厳しい販売が続いている。
大阪	本県産	(CA) A 2 L A L A M (生) A 2 L A L A M	2,000~ 2,200~2,000 2,000~ 1,400~1,300 1,400~1,300	1,300~ 1,300~		L 1 P 298 円	本県産のCA品と生品の販売。 CA品が終盤でほとんど入荷がないことから、生品主体の販売に切替っており、流通量の少なさから堅調な販売で推移した。 来週についても、同様の傾向は続くものの、入荷量によっては価格は弱含みとなる見込み。
東北	本県産	A 2 L A L A M (生) A 2 L A L	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 1,200~1,100 1,200~1,100	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 1,200~1,100 1,200~1,100	なし	L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 本県産の生品の入荷量は多くはないものの、28年産乾燥品の在庫を各社持っており、生品の荷動きは鈍い。市況は日々軟調推移。 来週についても、引続き入荷量の少ない乾燥品は保合での販売となるものの、入荷増量が見込まれる生品については価格を下げた販売となる見込み。

品名 ア ス パ ラ ガ ス

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	佐賀県産	150g A 2 L	200～	200～			九州産中心に本県産の販売。 九州産の夏芽と本県産の販売となっており、本県産の入荷は減少したものの、九州産の入荷は増加したため、全体量は増えている。 来週についても、九州産の入荷量が多いと予想されているが、本県産は減量する見通しであることから、価格は保合推移となる見込み。
	熊本県産 本県産	100g A L A M A S	160～ 140～ 100～	160～ 140～ 100～			
東北	本県産 東北産	100g A L	170～ 160	170～ 160		—	本県産中心の販売。 本県産については、立茎作業に入る地域もあり、入荷量が減少しており、市況は強含み推移となっている。 来週についても、引続き本県産の入荷量は少ないことから、市況は強保合推移となる見込み。
		150g A L	240～ 220	240～ 220			

品名 き ぬ さ や

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	1 kg	3,000～2,500	3,000～2,500			今週後半は遅れていた各東北産地の入荷が一気に出揃い、潤沢な入荷となった。本県産についても入荷量は多く、弱含みの販売となった。 来週については、引続き東北産地の入荷量が多い見込みだが、相場は弱含みで推移する見込み。
名古屋	本県産 長野産他	A L A M	3,000～2,500 3,200～2,800	2,800～2,300 3,000～2,500			本県・長野県産中心の販売となっている。 本県産がピークに入り数量増となったことから、下げ基調での販売となった。 来週についても引続き潤沢な入荷が見込まれることから、売場拡大に向けて価格は一段下げとなる見込み。 降雨の影響による傷みが散見されるため、選別については十分に注意する必要がある。

品名 きぬさや No.2

大阪	北海道産 岩手県産 本県産	A L A M	2,500~2,000 3,500~3,000	2,000~ 3,000~			本県産を中心に、北海道産・岩手県産の販売。 北海道産・岩手県産の入荷が少ないものの、本県産の入荷が増量したため全体量は増えており、価格は弱含みで推移した。 来週についても、北海道産・岩手県産は横ばいとなるものの、本県産の増量が見込まれていることから、価格は弱含みで推移する見込み。
東北	本県産	A M	3,500~3,000	3,500~3,000	—		本県産中心の販売。 引続き本県産の入荷量が少なく、露地物の入荷も増えてこないことから、市況は強保合推移となっている。 来週については本県産露地物の入荷増が見込まれるものの、大幅な増量とはならないことから市況は保合推移となる見込み。

品名 だいこん

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A 2 L A L	1,500~1,300 1,600~1,400	1,300~1,100 1,400~1,200	—	1本 198~178円 ハーフカット 98円	本県産中心の販売となっている。 今週から北海道帯広地区の入荷が開始となり、週後半から連日の入荷となっている。 これまでは総体量が異常に少なかったことから高値販売が続いていたが、今後は本県産・北海道産共に安定した入荷が見込まれることから弱含みの展開となる。
名古屋	本県産 北海道産	A 2 L A L	1,500~1,400 1,600~1,500	1,400~1,300 1,300~1,200		1本売り 198~158円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 週前半については品薄高で推移したものの、週後半については北海道産の入荷開始に伴う総体量の増加から下げ基調での販売となった。 来週については、北海道産が本格化することに加え、今週までの高値による荷動きの鈍化から市況は下げでの販売が見込まれる。

品名 だいこん No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	北海道産 本県産	A2L AL	1,500~1,400 1,600~1,500	1,200~ 1,400~			北海道産・本県産の販売。 今週から北海道産が開始され、潤沢な入荷となったことから総体量が増加しており、価格は下げ基調での推移となった。 来週以降は、さらに北海道産の増量が予想されているため、価格は下げ基調で推移する見込み。
東北	関東近在産 本県産	A2L AL	1,300~ 1,400~	1,300~ 1,400~	—		本県産中心の販売。 本県産については、他農作業との兼ね合いから入荷量は落ち着いたものの、北海道産の出回りから荷動きは若干鈍化、価格についても弱含みでの販売となった。 来週については、本県産入荷量は増加とまらないものの、月末から荷動きの良化とはならず、保合推移の見込み。

品名 こかぶ

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A2L AL	1,000~ 900 1,000~ 900	1,000~ 900 1,000~ 900			本県産中心の販売。 千葉県産の入荷量も少なくなり、本県産への産地切替も進んだことから、今週については底上げしながらの販売で推移した。 来週について、本県産は徐々に増量しており潤沢な入荷量となることから、保合の販売となる見込み。
名古屋	本県産	A3L 2L	1,000~900 1,000~900	1,000~ 900 1,000~ 900			本県産中心の販売となっている。 本県産は品質も良好で安定した入荷が続いたことから、保合での販売となった。 来週についても引続き、本県産主体の売場展開が見込まれることから安定した販売が続くものと思われる。

品名 こ か ぶ No. 2

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産	A3L A2L AL	1,000~ 1,200~1,000 1,000~	1,000~ 1,200~1,000 1,000~			本県産中心の販売。 本県産の品質は安定して良いものの、安価な転送品の案内が多いことから、価格は保合で推移している。 荷動きは徐々に回復してきているが、引続き、価格は保合で推移する見込み。
東北	本県産	A2L AL	1,100~1,000 1,000~	1,000~ 1,000~			本県産中心の販売。 安定した入荷が続いており、荷動きは良いことから市況は保合推移となっている。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みの中で、引続き積極的な販売となることから、市況は保合推移の見込み。

品名 きゅうり

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,800~1,600	1,600~			関東近在産中心に福島県産の販売となっている。 関東近在産は出荷終盤となっており、B品中心の入荷中心で、東北産地の気温上昇から総体量は増量傾向となっている。福島県産についても遅れていた生育が徐々に回復してきており、出荷量は増量傾向。 来週について、各東北産地の入荷が増量することから弱含みで推移する見込み。

品名 トマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L	1,800~1,600	1,800~1,600			<p>関東近在産中心の販売となっている。</p> <p>西南暖地産、愛知県産が出荷終盤となっており、入荷量は減り込んでいる。関東近在産についても小玉中心の入荷から、総体量は減り込み東北産への引合いが強まった。</p> <p>来週について、各東北産の出荷も始まるが、保合での販売となる見込み。</p>
		A M	1,800~1,600	1,800~1,600			
		A S	1,600~1,400	1,600~1,400			

品名 ミニトマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	パック	160~140	160~140			<p>熊本県産および関東近在産の販売。</p> <p>熊本県産、愛知県産は出荷終盤となっており、数量は減少傾向。関東近在産についても、出荷ピークを過ぎており日々増減を繰り返しながらの出荷で、入荷の安定しない状況が続いている。</p> <p>西南暖地産の品質低下から東北産への引合いが強く、相場は強保合の展開となる見込み。</p>
	関東産	3Kバラパック	1,600 120~100	1,600 120~100			

品名 に ん じ ん

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	本県産 A L A M 千葉県産 (予冷) A L A M	本県産 1,600~ 1,500~ 1,500~1,400 1,400~1,300	本県産 1,600~ 1,500~ 1,400~ 1,400~1,300		L 3 P 158~148 円 M 3 P 148~128 円	関東近在産中心の販売。主力の千葉県産は生育初期の低温、干ばつの影響からM中心の出荷となっており、L級の引合いが強い。関東地方は梅雨入り後も雨が少なく、肥大が進まないことから出荷の進捗も悪い。 千葉県産は品質低下も散見されており、本県産への引合いは強まっている中ではあるが、千葉県産は7月上旬まで継続して入荷が見込まれるため、荷動きの緩慢な状況が予想される。
名古屋	青森県	2 L L M	1,700~1,600 1,700~1,600 1,600~1,500	1,600 1,800 1,600		L 3 P 198 円 M 3 P 158 円	岐阜産中心が終盤となり、本県産の出始めとなっている。 本県産については、週後半から始まり岐阜県産の数量減からスムーズな移行となっている。 来週については、本県産の入荷が本格化する見込みとなっているものの、M中心の比率が高い見込みから、太物を中心に堅調な販売が見込まれる。
東北	本県産 関東近在産	本県産 A L A M	本県産 1,600~ 1,400~1,300	本県産 1,600~ 1,400~1,300			関東近在産の販売、本県産の入荷が今週より始まった。関東近在産については、今月いっぱいの販売となることから、本県産の入荷増が望まれている。関東近在産はM・S中心の入荷から、市況はL中心の展開。 来週については、本県産の入荷は増加するものの、他県産の減少から順調な販売が見込まれる。